

令和元年度 行政評価表:企画政策課

		【Plan】計画 / 【Do】実施															【Check】評価 / 【Action】改善														
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)						事業評価の成果指標(目標・実績)						H30年度 決算額 (千円)	R1年度 予算額 (千円)	R1年度 決算額 (千円)	事業成果の評価 成果向上 余地はある か	評価の理由	予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)									
			指標名等		H30年度		R1年度		指標名等		H30年度		R1年度							コスト削減 余地はあるか	評価の理由	1次評価(担当者評価)		2次評価							
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績								達成率	事業評価	評価の理由	R3年度予算要求の方向性	所属長評価					
自立した行政運営の確立	行政改革推進本部運営事業	【令和元年度の事業内容】 第6次伊万里市行政改革大綱実施計画(計画期間:平成28年度～令和2年度)の平成30年度実績報告および令和元年度計画の作成。行政改革とは、主に財政状況や社会情勢など内外の変化に柔軟に対応出来るよう、行政の組織や運営を適正化するものである。本市では、市民満足度の向上や財政の健全化をめざし、これまで6次にわたり行政改革を推進している。	行政改革推進会議の開催回数	回	1	1	100%	1	0	0%	行政改革大綱実施計画に基づく実施項目の達成率	%	60	59	98%	60	58	97%	37	38	0	低	これまでの行政改革の実践により、経費削減や人員の削減など一定の成果を挙げ、向上の余地は少ない。	なし	本事務事業で計上する予算は、行政改革推進会議の開催(年1回)に要する費用(報償費、旅費)のみであり、コストの削減は同会議の規模の縮小や中止につながり、本市の行政改革に対する外部からの意見等の聴取が難しくなることから、成果を維持したままのコスト削減余地は極めて少ない。	改善	成果の向上とコスト削減に向けた改善については、難しい状況であるが、本市が取り組む行政改革の指針となる第6次伊万里市行政改革大綱実施計画を市民、職員にわかりやすい資料とするため、年度ごとに作成する実施計画資料の見直しを行う必要がある。	改善	事業にかかる経費は、推進会議にかかる費用のみであるため、平成31年度予算並とする。	改善	令和2年度に新たに策定する第7次行政改革大綱・実施計画の取り組みを市民にわかりやすく公表していくための手法を、引き続き検討し取り入れていく必要がある。
市民との協働によるまちづくりの推進	地方創生推進事業	平成27年度に策定した市総合戦略に基づいて本市の地方創生を推進する。 1 アクションプランの策定・推進 総合戦略の4つの柱に沿った推進部会を設置し、事業内容と実施主体を明らかにしたアクションプランを策定した。R1:123事業 2 国の交付金を活用した事業 ①地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(H27繰越) ②地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金タイプ1、II(H27) ③地方創生加速化交付金(H28繰越)【PORTO 3316 IMARIほか】 ④地方創生推進交付金(H28～)【移住定住プロモーション制作など】 ⑤地方創生拠点整備交付金(H28申請H29繰越) 【波多津コミュニティセンター建築】	会議開催回数	回	6	9	150%	6	7	116%	地方創生交付金の活用による事業実施件数	件	1	3	300%	1	1	100%	257	230	64	なし	進捗や成果を測るための会議の費用であるため、これ以上の向上の余地はない。	低	推進部会の書面開催によるコスト削減は可能であるが、令和2年度は第2期総合戦略の初年度であるため削減は難しい。	維持	地方創生を推進するため、外部委員も含めた合議体において年次の評価や検討が必要である。	維持	第2期総合戦略の初年度となるため、第1期の振り返りと、新たな戦略に基づく今後の方向性を検討する。 推進部会 各2回開催 推進委員会 2回開催 推進本部会議 1回開催	維持	地方創生の息の長い取組を推進するため、外部委員も含めた合議体において、引き続き、年次の評価や検討が必要である。
自立した行政運営の確立	第6次総合計画策定事業	平成29年度 ① 庁内策定組織の編成 ② 市民アンケートによるニーズ把握 ③ 市民会議等によるニーズ調査 ④ 基本計画骨子案の作成 ⑤ 基本構想案の作成 平成30年度 ① 総合計画審議会の開催 ② 総合計画案の作成 令和元年度 ① 総合計画概要書の作成 ② 本編・概要書のウェブ版作成	概要版冊子の作成	部	-	-	-	22,000	22,000	100%	概要版冊子の全世帯配布	世帯	-	-	-	20,564	20,564	100%	3,061	3,273	3,272	なし	指名型プロポーザル方式により随意契約した事業者により計画の起草から編集、策定までの支援を受けており、概要版の作成を同一事業者に委託することで、効率的な作成を図ることが出来るため、これ以上の向上の余地はない。	なし	事前に見積取などで策定に係る最低限の経費を調査しており、これ以上のコスト削減は見込めない。	完了	第6次伊万里市総合計画策定作業が完了したため。	完了	第6次伊万里市総合計画策定作業が完了したため。		
市政に関する情報共有と市民参画の促進	個人番号カード利用促進事業	国が個人番号カード(いわゆるマイナンバーカード)を活用して実施するポイント還元事業(マイナンバー事業)は、マイナンバーカードの保有者だけが取得できるIDが必要となるため、市民に対するID設定の支援を行うとともに広報活動を行った。	広報回数	回	-	-	-	1	1	100%	支援件数	人	-	-	-	225	77	34%	-	443	186	高	マイナンバー事業の認知度の高まりやマイナンバーカードの交付率の向上に併せて、設定を支援の取扱件数が増加するため。	高	マイナンバー事業に参加するための手続きが簡素化されたため、支援員の人員費など、コストの削減が見込める。	完了	令和2年度にマイナンバー事業が終了することに合わせて事業は完了となる。	完了	予算要求は行わない。	完了	令和2年度にマイナンバー事業が終了することに合わせて事業は完了となる。
自立した行政運営の確立	ファシリティマネジメント推進事業	個別施設計画を策定し、施設の統合や複合化を推進する。	財政状況等に関する住民説明会の回数	回	0	0	0%	13	13	100%	一元管理システムの導入回数	件	0	0	0%	1	1	100%	0	5,733	5,717	中	地元説明会等を実施し個別施設計画を策定することで、成果向上の余地はある。	高	R1度は、一元管理システムの導入費用がかかっていたが、今後は保守費用のみになるため削減の余地は大きい。	維持	システムを利用しながら個別施設計画を策定することで、ファシリティマネジメントの推進を図る。	維持	公共施設等管理システムの保守に係る経費を計上する。	維持	令和2年度に策定する「個別施設計画」に基づき、施設の更新、統合、廃止等を行う必要がある。また、必要に応じて計画の見直しを行っていく必要がある。
男女協働参画社会の形成	男女協働参画推進事業	・男女協働参画意識の形成・改革のための啓発活動を行う ・伊万里市男女協働参画基本計画の取組評価と改善を行う	啓発事業及び研修会等の開催回数	回	10	20	200%	10	13	130%	啓発事業・研修会への参加人数	人	300	565	188%	300	361	120%	845	893	652	中	男女協働参画基本計画に基づき計画的に事業に取り組み、継続的に実施することで、成果向上の余地はある。	なし	市民との協働で実施し、必要最低限の経費で運営している。	改善	男女協働参画社会の実現のために積極的な取組が必要であり、今後も啓発活動の取組を強化し、効果的に継続した取組を行う必要がある。	改善	予算については現状を維持し、今後も啓発活動の取組強化するため、実施内容を改善するなど、効果的に継続した取組を行う	改善	平成30年3月策定の「第4次男女協働参画基本計画」及び事業計画を確実に進捗するため、積極的な取組が必要であり、今後も啓発活動の取組を強化し、継続していく必要がある。
男女協働参画社会の形成	女性自立支援相談事業	・配偶者等からの暴力及び女性に関する相談に対応し、自立支援を行う 女性自立支援相談員:1名 相談日:3日/週(月、水、金曜日) R元年度相談件数:448件 (うちDV被害相談件数:286件) ・DV被害者支援体制の強化を行う 庁内連絡会議の開催 「DV被害者支援・加害者対応マニュアル」の見直し DV被害者支援研修会を実施	「DV被害者支援・加害者対応マニュアル」の見直し	回	1	1	100%	1	1	100%	自立支援を行った人数	人	70	81	116%	70	66	94%	1,316	1,696	1,664	中	相談窓口の周知を徹底し、潜在的なDV被害者等の支援に繋げることができる。	なし	女性自立相談員の報酬とスキルアップ研修への参加負担金等であるため、コスト削減の余地はない。	改善	相談窓口の周知を徹底し、利用しやすい体制を整える必要がある。	改善	予算については、現状を維持し、相談窓口の周知を徹底し、利用しやすい体制を整えるために、啓発活動を行う	改善	安心して利用できる相談体制の整備・充実と相談窓口の更なる周知を徹底する必要がある。